

まちのトレジャーハンティング@豊島区と 国土交通大学校都市行政研修の成果について

1. まちのトレジャーハンティング@豊島区

①開催日：平成26年11月15日（土）、16日（日）

②開催概要

豊島区内の縮退エリアを対象に、普段まちの人達が気づいていない空間資源、人的資源、文化資源、歴史資源などのまちに存在する潜在的な価値のあるお宝を、外からやってきた七人の侍ならぬトレジャーハンター達が、まちの人達と一緒に探し使い方を考えることでエリアの未来と豊かな暮らしをまちの人達と一緒に構想し提案する。

③参加者

トレジャーハンター：7名

豊島区在住主婦ハンター：7名

ワークショップ：37名（うち区内在住12名）

報告会：150人超（関係者含む）

④提案内容

動画配信サイトYouTubeのアーカイブ参照のこと。

<https://www.youtube.com/watch?v=wVsPEOE6NI4>

2. 国土交通大学校都市行政研修

①日程：平成26年11月10日（月）～11月21日（金）

②内容

ゼミナール課題地として「豊島区内の複数エリア」を題材として、同区が都内でも「消滅可能性都市」に位置付けられる状況の中で都市の再構築の時代における既存ストックを活用した戦略的な都市経営と官民連携型まちづくりとして行うべき区の施策と「豊島区家守構想」を提案する。

③参加者

国土交通省、他府省、都道府県、政令指定都市、特別区、市又は独法等の職員で係長級または同程度の能力を有すると認められる者

参加人数：43名（男性38名、女性5名）

職種：土木19名、建築9名、研究1名、事務14名

平均年齢：33.6歳（40代10名、30代17名、20代16名）

④ 提案内容：別紙参照

5 チームに分かれ、区内5つのエリアに対して、人口動態等の定量的分析とフィールドワーク等による定性的分析および研修期間中の講義内容を踏まえて家守構想を作成した。

研修生の中には、トレジャーハンティングに参加した方もいる。

⑤ 提案内容のポイント

- ・ 豊島区の現状と課題、定量的・定性的分析結果、研修期間中の講義内容を踏まえた結果、アプローチは当然違うものの各提案とも、エリア価値の向上、子育て世代の流入や子育て世代が住み続けられる環境の実現を目指したものとなった。
- ・ 共通の課題・提案として、道路・公園・廃校等の公共施設の活用が十分に図られておらず、その活用の必要性が強調され、具体的な活用方法が提案されていた。
- ・ 東長崎エリアを担当したチームは、以下のように区が取り組むべき具体的な施策にまで踏み込んでいた。

○法的手続き

豊島区立公園条例の弾力的運用

既存不適格建築物への建築基準法の運用改善

○金融・税制優遇措置

空き家撤去跡地を防災空地とみなし、固定資産税を減免

→空き家撤去、農地化を促進

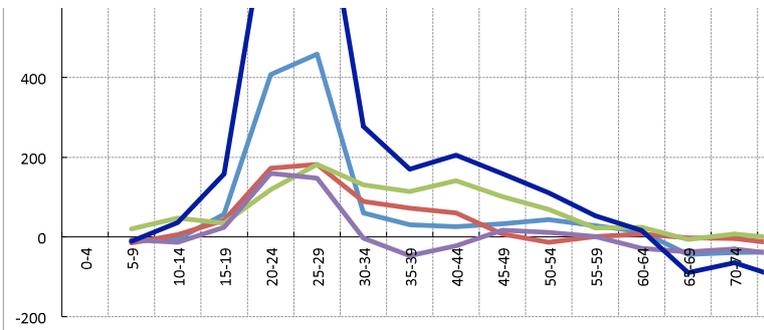
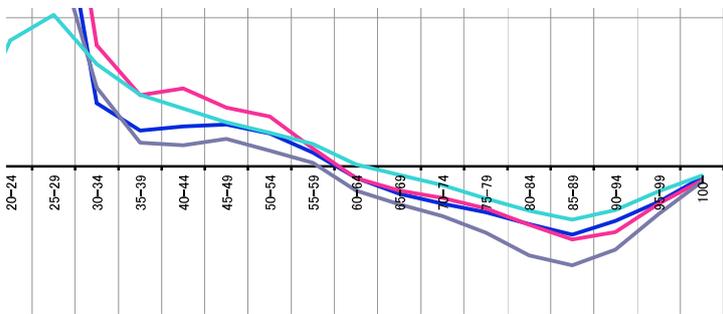
家守事業向け融資制度の創設

○中古住宅インスペクションにかかる費用補助

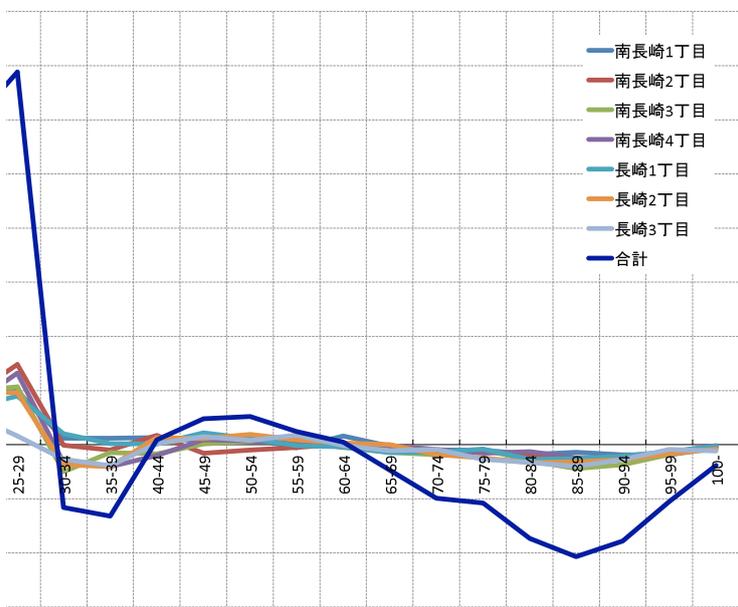
○豊島区空き家実態調査（H23）の補足調査実施

トレジャーハンティング対象エリア

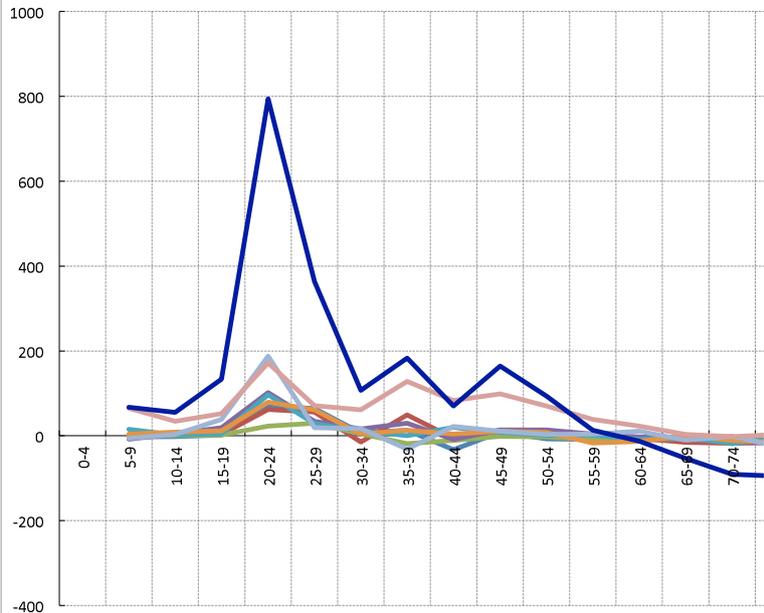
- JR(山手線・埼京線等)
- JR
-



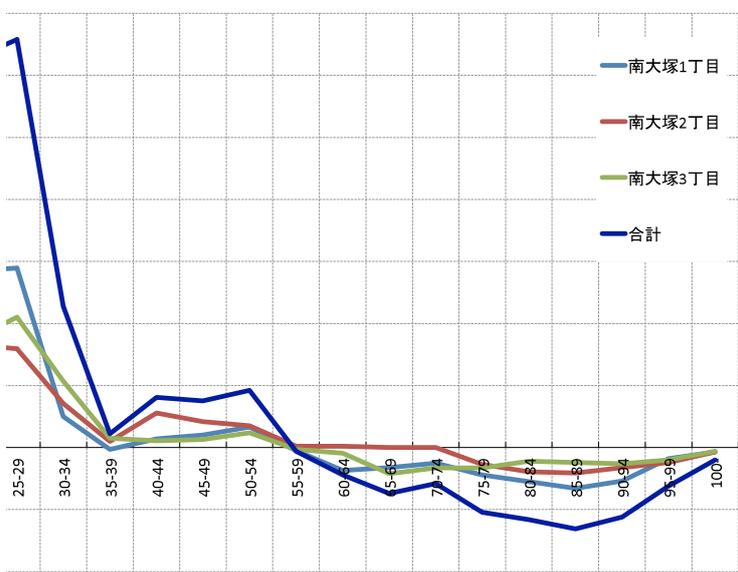
椎名町エリア



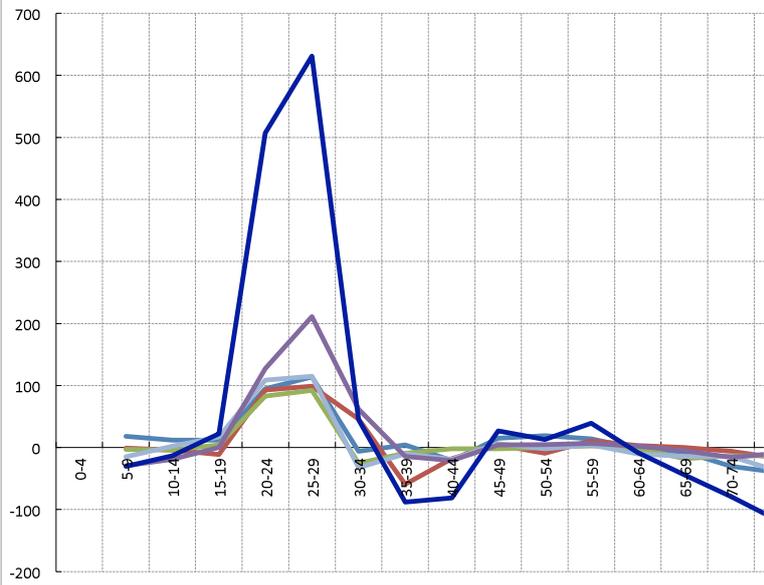
雑司が谷エリア



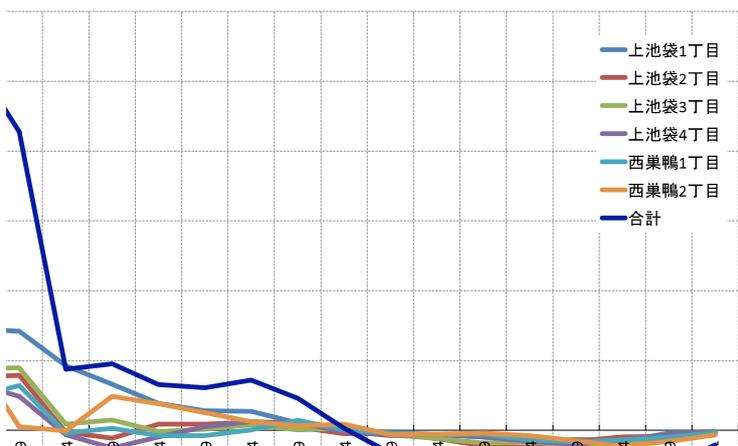
南大塚エリア



東長崎エリア



上池袋エリア



池袋エリア

